

進取

法政大学高等学校 同窓会 会報

2018年(平成30年)5月10日(木) 第43号

発行所 法政大学高等学校同窓会
〒181-0002 東京都三鷹市牟礼 4-3-1
Tel. 0422-79-6233 Fax. 0422-79-6262
<http://www.hoseikd.jp>

発行人 岩村元雄 (同窓会会長)
編集人 大貫光伸 (広報委員長)
題字 飯田亮三 (前校長)



同窓会憲章

われわれ法政大学高等学校同窓会は母校の伝統風土である「良き師、良き友集い結べり」の精神を継承し、母校の校格を向上させることを目的として強力な支援体制を築く。

また「母校の誇り、母校愛、母校への貢献」を共通理念として会員が一体となった活力ある組織を形成するものである。

信は万事の基を成す

同窓会会長 岩村元雄

同窓会会員の皆様こんにちは。陽春の候、ご健勝にて活躍のこととお慶び申し上げます。

3月10日(土)無事高校卒業式を終了し、229名(男子111名、女子118名)の新入会員、第70期生が同窓会に入会していただきました。同窓会より卒業の記念品として「USBメモリー」を贈呈し

同窓会憲章を配布させていただきました。恒例により卒業式前日には昼食を共にしながら新卒業生の同窓会担当委員(別掲載)と同窓会役員による打ち合わせ会を開催致しました。今年は校長・副校長・事務局長は校務重複の為欠席。基本的には同窓会憲章を共通理念として総務・財務・広報・事業・組織拡充の5委員会の活動を各責任者より説明させていただき、協力を依頼致しました。4月6日(金)

平成30年度入学式が開催され、中学生140名(男子67名、女子73名)、高校生234名(男子107名、女子127名)の入学で多摩の御三家として並びました。法政中学から数えると今年で82周年を迎える母校ですので、永い歴史と伝統がありますがそれを築き上げて来たのが卒業生、即ち同窓生であります。

今年卒業された229名の皆様は今日から新しい歴史のページを築いて行くことになるのです。信用・信頼に通じる信の字は人々に言であります。即ち対話であります。親子の対話、先生・先輩との対話、兄弟・姉妹・友人との対話、大切に、これからスタートする人生で信用・信頼を勝ち得ていただくことをお祈り申し上げます。同窓会ではPTA・法政フラスカス会と共に学校行事やクラブ活動を応援していますが、29年度目立ったクラ

ブ活動は、硬式野球部 第99回全国高等学校野球選手権大会西東京大会ベスト8、高校水泳部 内出裕介さん100mバタフライ関東大会出場、富田萌花さん第72回国民体育大会シンクロナイズスイミング競技東京都代表選出、高校ラグビー部 平成29年度合同チーム「ラグビーフットボール」全国大会KOBELCO CUP 優勝、第10回合同チーム東西対抗戦花園ラグビー場・赤坂大也さん、青柳勇斗さん選抜出場。しかし個々の輝かしい成績とは裏腹に最近のラグビー部は部員不足で部の存在が問われる問題を抱えており、今年創部70周年を迎える歴史と伝統ある部です。で学校を始め関係各位の善処を望んでいるところであります。チャリーディング部 JAPANCUP 2017日本選手権 東京大会・関東大会を勝ち抜いて8年連続全国大会に出場しましたが予選敗退、陸上競技部 第26回三鷹市民駅伝大会に於いて、男子6位(130チーム中)女子昨年に引き続いて優勝(28チーム中)と好成绩を収め大会委員長の清原慶子三鷹市長より特に女子チームに対してお褒めの言葉をいただきました。アイスホッケー部は東京都大会3位となり関東大会に出場、高校スキー部は鈴木海渡さん・宇田川藍さん、アルペン競技関東大会出場・永原駿さん、池田俊介さん、中尾剛志さん、クロスカントリースキー競技全国大会出場、音楽部「セカンドロック」全国高等学校軽音楽コンテスト決勝進出・フラスコバンド 東京都高等学校吹奏楽コンクール金賞、3月21日(祭日) 第51回定期演奏会を調布市グリーンホールで開催し関係者及び一般入場者が鑑賞されました。恒例の「鈴掛祭」を演出し

た生徒会の皆さんも見事な活動でした。平成30年度も沢山のクラブが素晴らしい活動をされますように大いに期待して居るところであります。法政大学は「一昨年「自由を生き抜く実践知」をテーマに大学憲章を設定いたしました。立場の違う人々が自由を生き抜くことの出来る社会を組み立てることがこの憲章の目指す理念です。田中優子総長のメッセージです。平成30年4月より法政大学女子高校が男女共学となり法政大学国際高等学校として出発致しました。誠にめでたうございませう。今後益々の発展を期待するところであります。一般社団法人法政大学校友会では2013年度同期会正会員をパートナー組織へ所属の変更を案内しております。

今後毎年おこなう事ですが我が同窓会では、校友会担当の高村嘉昭同会長の説明(別紙)を熟読の上同期会から法政高校同窓会へ所属を変更される方は大歓迎致します。事務局へ手続きをよろしく願い致します。今年はクラス・クラブ委員会を6月16日(土) 14時より、母校で開催致します。委員の皆様万障お繰り合わせの上ご参加願います。様お願い申し上げます。



同窓会より卒業記念品として贈呈した「USBメモリー」

法政中高の教育目標

法政大学中学高等学校 校長 岡 稔彦



今回の原稿依頼をいただいたとき、文字数を計算してみても驚きました。昨年の同窓会報をみると7000字弱で書いているのですが、今回は2,000字近くのスベースがあります。2,000字というのは、この三学期に高校3年生が課された卒業レポートと同じ数字です。

しかし、生徒たちに課している以上、驚いているばかりではいけません。卒業生たちの気持ちや心構えを見習って、挑んでみようと思います。そして、ここはオーソドックスに、四章で文章をつくってみましょう。テーマは、法政中高の教育目標です。

一、本校の現在の教育目標には、三つの法令が出てきます。日本国憲法、1947年制定教育基本法、子どもの権利条約です。この三つの法令が前提となつて、本校の教育づくりがなされているということになります。

教職課程を学んだ大学生時代の自分を振り返ると、なぜ日本国憲法について学ばなければならぬか、たいへん認識が弱かったように思います。しかし、会社員を経て三十代になつてから改めて挑んだ教員採用試験、その準備のために学び直したとき、この憲法が地球社会に対してもつてい

る大きな意味をつかみ直したように思いました。

近代以降の憲法一般が、政治権力者の手から人民を守るためにつくられたことを、まずは確認したいと思います。そして、そのうちの一つである日本国憲法は、

もう一つの歴史的事情、つまり日本帝国が明治初年以來繰り返してきた周辺への侵略行為に対する深い反省を含んでいることを忘れてはならないでしょう。さらに、その人権条項をみると「人身の自由」に対して、本当にここまゝとした定めがあり、これは、大日本帝国がその住民に対して、どれほど過酷に臨んでいたのかを如実に示しています。

この反省は、一人日本帝国といわず、二度の世界戦争と大量虐殺を経験した20世紀前半の世界に共通するものでした。だからこそ大戦後につくられた法令や条約、国際的な宣言は、平和主義にせよ人権擁護にせよ、日本国憲法と同じニュアンス、同じトーンを持っているのでしよう。わたしは教員が、いつも心しておかなければならないということは、人類の一員として当然というべきだと思います。

二、1947年制定教育基本法は、法律としては珍しいことに前文が付いており、また、法律として根本的な性格をもつことから、教育分野の憲法という位置付けを持つとわたしたちは大学において学びました。その前文は「われらは、さきに、日本国憲法を確定し、民主的で文化的な国家を建設し、世界の平和と人類の福祉に貢献しようとする決意を示した。この理想の実現は、根本において教育の力にまづべきものである。」と始まっています。日本国憲法には平和国家建設の決意が込められ、その決意を実現するのが教育の力であるというわけですね。

三、子どもの権利条約（日本国政府訳「児童の権利に関する条約」）は、子どもの基本的な人権を国際的に保障するために定められた条約です。1989年の第44回国連総会において採択されて1990年に発効。日本政府は1994年に

批准しています。

この条約の成立過程を調べてみると、まさに戦争が姿を現します。そもそもこの条約の必要性を提起したのはポーランド政府でした。ナチスがユダヤ人など「好ましからざる人々」の大量殺害だけを目的とする絶滅収容所を設けたのが、ドイツ占領下のポーランドです。そして、条約成立へ向けての議論が行われているときに地域紛争とも呼ばれる小さな戦争が世界中で起き、それは今も続いています。

一方で、子どもたちを苦しめているのは武力紛争だけではありません。日本に対する国連の1998年の勧告は「極度に競争的な教育制度によるストレスのため、子どもが発達上の障害にさらされている」と指摘し、さらに「学校において体罰が広く用いられていること」に懸念を示しています。20年後の日本社会はこれを十分に克服したでしょうか？

四、20世紀冒頭、教育思想家エレン・ケイは『児童の世紀』を著しました。ケイは、来る20世紀を「児童の世紀」と名づけ、大人のひな形ではない独自の存在としての子どもへの関心を高め、教育を通してそのような子どもの権利が保障されることに大きな期待をかけたのです。

こうして、ケイの著作から100年が経って、私たちはやっとその思想に追いつこうとしています。

以上のように、私たちの学校の教育目標は人類の歴史の重みをもち、その英知の結集を感じさせる理念から成り立っています。この理念にふさわしい教育実践を実現させていくことが私たちに求められているといえます。厳しきことおびただしとは思いますが、はるかな前途に生徒たちの幸福な人生という光をみながら、これからも進んでいきたいと思っています。

第20回ホームカミングデーを終えて

実行委員長 石川 秀和

今年度も卒業生を母校にお迎えするホームカミングデーを終えることができました。古い世代から若い世代まで40名の本校卒業生の参加によって大いに盛り上がり、同窓生同士、同窓生と現役の教職員の親交を深めることができました。校歌の歌詞にある「よき師よき友集い結べり」を体現するホームカミングデーとなりました。以下に概要を報告いたします。

日時…2017年11月24日（土）13時30分～16時00分
場所…本校多目的室・1F食堂
目的…退職教員および卒業生の親交を深める
参加者…55名

卒業生32名 同窓会役員8名
退職教員1名 若橋保男 先生
現職教職員14名

《第一部》懇談会 13時30分～14時15分

開会の挨拶／学校紹介DVD視聴／

若橋先生のお話

《第二部》懇親会 14時30分～16時

岩村同窓会会長の挨拶および乾杯を皮切りに、各期ごとの参加者紹介と代表の方からの挨拶、および記念撮影を行いました。どのOBの方々も元気にそして和気藹々と写真撮影をされている姿は、まるで高校時代に戻られたような様子でした。皆様のご活躍されている近況も話され、改めて本校の歴史と伝統の奥深さを感じる場となりました。

本校でこれまで積み上げてきたものを現代の中高生にあつた形に組み替え本校の教育活動に活かすことができれば、他校には無い豊かな教育が実現できるのではないかとその可能性を実感する場となりました。

《今後に向けて》

年々学校予算が縮小されており、厳しい状況にあります。これまでのホームカミングデーの諸費用は学校予算より支出させて頂いておりましたが、今まで通りの予算で運営していくことが困難になってまいりました。今年度は、このような状況を察して頂き、同窓会から食べ物や飲み物を支援していただきました。また、次回ホームカミングデーに向け、案内状発送を一部支援していただくことになりました。本当にありがとうございます。

20年の歴史を刻んでいるホームカミングデーは、今回報告させていただきましたように、学校の原点を見つめる一つの機会であると考えています。継続をしていくには運営形態などの工夫が必要になってきております。今後とも同窓会の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。





2017年度 新卒クラス委員紹介 (高70期)

1組	増田 開斗	山下 莉奈
2組	東 優貴	武内 麗
3組	苅田 颯	伊藤 友彩
4組	水越 結規	廣瀬 萌々子
5組	関 健矢	水谷 葵
6組	菅原 太樹	古賀 美羽

クラス委員長あいさつ

こんにちは。高校70期クラス委員長に就任した菅原太樹です。卒業式にて同窓会会長の言葉を受け、同窓会のスケールの大きさを知り、同じこの同窓会にクラス委員長として関わることが出来ること、光栄に思います。よろしくお願ひします。

第70期生クラス委員長 菅原太樹

新クラス委員の 皆さんを迎え

2017年度新卒クラス委員説明会を3月9日(卒業式前日)に開催致しました。

今年は天候不良により交通機関が乱れ開催時刻も遅れた為、先生方が出席出来ませんでした。同窓会会長及び各委員会代表から同窓会憲章、業務内容、クラス委員の役割等を説明致しました。

新クラス員の皆さんは法政大学進学者以外に他大学進学者や医学部進学者希望者もおりました。それぞれの道がありますが、友情と母校愛を大切にして頂き、併せて同窓会への御協力をよろしくお願ひ致します。

(広報委員長 大貫)

平成29年度 事業報告

16日(水)	全国高校サッカー選手権大会
8月6日(日)	大会西東京大会5回戦応援 バスケットボール部OB会定期総会 役員出席
7月21日(金)	第99回全国高等学校野球選手権 大会西東京大会4回戦応援
7月17日(月)	第99回全国高等学校野球選手権 大会西東京大会3回戦応援
7月15日(土)	第99回全国高等学校野球選手権 大会西東京大会2回戦応援
7月10日(月)	第99回全国高等学校野球選手権 大会西東京大会1回戦応援
7月1日(土)	法政大学サッカー部OB会総会 役員出席
10日(土)	平成29年度法政大学サッカー部OB会総会 役員出席
17日(土)	同窓会総会・懇親会
8日(木)	第22回法政大学高等学校 同窓会総会・懇親会
4日(日)	第12回全国高等学校選抜アイス ホッケー大会代表校選考競技会 対西武ホワイトベアーズ戦応援
27日(土)	第12回全国高等学校選抜アイス ホッケー大会代表校選考競技会 対東武レッドブレイズ戦応援
21日(日)	第12回全国高等学校選抜アイス ホッケー大会代表校選考競技会 対東武レッドブレイズ戦応援
20日(土)	法政大学70周年記念式典 会長出席
13日(土)	高校総合体育大会サッカー 東京都予選西支部3回戦応援
30日(日)	高校総合体育大会サッカー 東京都予選西支部2回戦応援
29日(土)	高校総合体育大会サッカー 東京都予選西支部1回戦応援
23日(日)	春季大会1回戦応援 東京都予選西支部1回戦応援
16日(日)	春季大会2回戦応援 東京都予選西支部1回戦応援
9日(日)	春季大会3回戦応援 東京都予選西支部1回戦応援
8日(土)	総会準備委員会・予算会議 役員出席
6日(木)	法政大学中学校入学式 役員出席
4月3日(月)	春季東京都高等学校野球大会 1回戦応援
18日(金)	東京都大会1次予選1回戦応援 全国高校サッカー選手権大会 東京都大会1次予選2回戦応援 Japan Openフットボール大会 選手権大会ラウンド16進出 バスケットボール部武蔵野カップ 1、2回戦応援
26日(土)	バスケットボール部武蔵野カップ 準決勝、決勝応援
27日(日)	第4回役員会
10日(日)	秋季東京都高等学校野球大会 1次予選1回戦応援
12日(火)	第67回全国高等学校体育大会 アイスホッケー競技選手権大会 東京都予選
18日(月)	対明大中野戦応援
21日(木)	秋季東京都高等学校野球大会 1次予選2回戦応援
23日(土)~24日(日)	同窓会ゴルフコンペ(鳩山CC) 役員出席
24日(日)	法政大学中学校高等学校総掛祭 役員出席
29日(日)	第97回全国高校ラグビーフットボール 大会2回戦応援
23日(月)	法政大学小川造幣局理事連夜参列 法政大学小川造幣局創立60周年 記念式典出席
29日(日)	男子バスケットボール新人戦 第二支部大会2回戦応援
5日(日)	男子バスケットボール新人戦 第二支部大会3回戦応援
18日(日)	男子バスケットボール新人戦 第二支部大会4回戦応援
23日(土)	第20回ホームカミングデー 硬式野球部OB会総会・懇親会 役員出席
26日(日)	第26回三鷹市民駅伝 応援 役員出席
10日(日)	法政大学校友会三鷹支部忘年会 役員出席
1月13日(土)	新年役員顔合わせ会 法政大学校友会オール法政 ラグビー部OB会総会・懇親会 役員出席
2月11日(日)	第33回法政大学付属同窓会 役員懇親会(武蔵小杉・ホテルニュー 同窓会新卒クラス委員説明会・ 予算委員会)
3月9日(金)	法政大学高等学校卒業式 役員出席
10日(土)	法政大学中学校卒業式 役員出席
17日(土)	法政大学中学校卒業式 役員出席
21日(月)	第51回フラスバンド会定期演奏会 役員鑑賞
23日(金)	法政大学体育会卒業生を送る会 出席

HOSEI
だよりOB・OGの
通信報告

活躍するOB

昭和第一学園高等学校
野球部監督 田中善則

略歴
法政一中 法政一高(二年生の時に春夏甲子園出場)法政大学(リーグ4連覇を経験)ベストナインに3度選出)
大学を卒業後は北海道拓殖銀行を経てシタックスに転籍(1999年に優勝)社会人野球日本選手権では大会 MVP を獲得、同年の社会人ベストナインに選出)
2001年現役を引退してシタックスのコーチに就任、2003年からはシタックスの監督に就任した野村克也氏に薫陶を受けた。
東北楽天ゴールデンイーグルスの監督に野村氏が就任するため、2006年シタックスの監督として指揮を執ったが、同年秋にチームの廃部が決定したため、シタックス最後の監督となった。シタックスを退社後、東光電気工事に入社し、退職後、2014年春から昭和第一学園高等学校の総監督、秋からは監督となり現在に至る。



今から30数年前の1983年秋、武蔵野市吉祥寺の法政一高は硬式野球部の東京都大会の決勝進出、1984年の春の甲子園出場、夏の西東京大会・甲子園出場の際には学校全体が大変な盛り上がりとなりました。そのチームにレギュラーとして名を連ねていた田中氏に会って話を聞かせていただきました。

素晴らしい野球人としての経歴もありながら「拓銀・野球部の退部」「シタックスの廃部」等々、苦勞も数々あったとのことでした。またシタックスで現役引退後に野村克也元監督の下で学んだことはとても大きな影響を受け、野球のことだけではなく礼儀等の社会人としての姿勢も学んだとのことでした。

シタックスを退社後は野球界から離れ、東光電気工事へ転籍し、ここでは営業を3年・現場を1年経験し、秋田・新潟では風力発電の建設に携わったそうです。特に現場での経験はダイナミック且つ、危険も伴う仕事で、高校野球の指導している立場においては多いに役立っているとのことのお話がありました。また、在職中には会社社に支援をされる形でタイのナショナルチームのコーチとして現地に2ヶ月間(一人赴任し、通訳がいらない中で)の共同生活と指導は言葉では言い表せないほど大変だったそうです。



昭和第一学園高等学校への転職のきっかけは森田勉校長(法政一高・元校長)より声がかかり、野球部を指導することになったとのことでした。

田中氏はインタビュの最後に「大学野球への挑戦、新興チームシタックスへの移籍、畑違いである企業への転身と初めての現場経験、そして常識を超えた海外での経験等、紆余曲折多くの経験をしてきた。しかし、いかなる環境の中でも自分は踏ん張り、粘りしごとく頑張ってきた。これは法政一中・高で培われた力(思い、考えたことを信じ、最後までやり抜くこととする)が礎となっているからである」といふ言葉を力強く述べ、これは後輩達へのメッセージであることを受け取りました。



弓道部は、一九六一年の創部で、まもなく六〇周年を迎えます。創部以来、西荻窪・吉田道場に通い、その指導を仰いできました。一高時代は弓道場がなく、おもにここで活動してきました。部は、四名の生徒が初代顧問となる坂本正吉先生(一九一九〜二〇一五年)の元を訪ねたことに始まります。以来、毎年三名から五名ほどの部員ながら綿々と続いてきました。近年、部員数も増え、すでに卒業生は三〇〇名を越え、各界で活躍しています。

吉田道場は、現在の岡山県高梁市出身の吉田能安(一九九一〜一九八五年)氏が開いた歴史ある道場で、昭和初期の建物を今も大切に使用しております。この間、吉田能安先生、吉田レイ先生(二〇一四年逝去)、そして道場に集う門弟の方々のご指導を仰いできました。現在、四七年度卒業の土井春夫氏が会長を務められており、ご指導を仰いでおります。

創部からまもなく六十周年となる
弓道部の紹介

ます。また、四〇年度卒業の宮崎正昭氏がOB・OG会長を務めると共に、週二回のご指導を受けております。

- ① 開会の挨拶 (本橋高代副幹事 卒業後59年が経過しました。今日を迎えられた事は誠に喜ばしい限りです。)
- ② 新クラス委員の挨拶 (北川博国代表幹事 川崎泰王前クラス委員は7年間努め今年から北川委員にバトンタッチ。遠くは神戸・仙台・茨城・神奈川・埼玉の各地から参加戴き有難うございました。良き師良き友集い。結び。法政。おお。我が母校に感謝。)
- ③ 故人に黙祷 (増田吉彦氏)
- ④ 乾杯 (藤屋静夫副幹事)
- ⑤ 各自近況報告 (本橋幹事の名言会により進行。病氣療養中にも拘らず出席された友。環境問題。地域ボランティア。農園。)
- ⑥ 閉会の辞 (鈴木達郎幹事 次回は80歳(金寿)に再会出来るように健康に留意され体調管理し頑張ってください。)
- ⑦ 3本締め (谷幹夫氏 《つきら田村》を紹介して頂いた香川輝夫幹事に御礼申し上げます。(寄稿者・川崎泰王)



平成29年10月11日(水)
法政一高10期4組
クラス会
場所…つきち田村
出席者…14名

第26回

三鷹市民駅伝 大会開催

平成29年11月26日(日)開催

一般女子の部「30チーム参加」

法政高校陸上部 47分49秒(2連覇)

一般男子の部「133チーム参加」

法政高校陸上部 43分15秒(6位入賞)

法政中高教職員 48分32秒(15位)

平成29年11月26日(日)開会式
午前8時、表彰式・閉会式 午前11時、スタート 三鷹中央防災公園、ゴール 元氣創造プラザ 市内1周12・5km 4区間天気は快晴、温度一八度、絶好のコンディションで行われました。スタート・ゴール地点の応援には法政高校同窓会、一般社団法人法政大学校友会三鷹支部、同じく品川校友会からは幟旗約10本の応援があり、ありがとうございました。又閉会式後の母校食堂での慰労会では毎度三鷹支部の各位に感謝致しております。主催 三鷹市、三鷹市教育委員会、他。大会参加 警視庁三鷹警察署、東京消防庁三鷹消防署他、後援、協賛、協力団体には多数参加があり、その中法政大学高等学校も協力しております。

さて9時、清原慶子市長の号砲一発、皆 斉に走り出しました。法政高校陸上部女子チームは昨年に続き二連覇の偉業を達成、一人一人がベストタイムを出し、良い結果を出しました。それにつけても合計タイムが昨年は50分05秒、今年度は47分49秒、2分16秒もタイムを短縮しました。それに2位に約2分の大差をつけました。法政高校陸上部男子チームは三鷹警察署、消防署等日頃訓練をしている強豪チームと一緒、それでも立派に入賞を果たしました。法政中高教職員チームはこのような強豪チームと一緒に走り、よく健闘しました。



ラグビー部

OB会会長

幹事

川上 典純
能登 英明

本年創部70周年を迎えたラグビー部は、悲願である全国大会出場はないものの、関東大会への出場17回、ニュージールランド・豪州への遠征11回という戦歴を誇り、OBも約600名を輩出している伝統のあるクラブです。部員は、愛する母校でラグビーに出会ったことを誇りに、卒業後もラグビーから学んだ経験を生涯の財産として大切にしています。

合同チームで臨んだ昨年度の成績は、春季大会は三回戦で都小山台に敗退、全国大会予選の秋季大会では二回戦で春季大会シード校の明大中野八王子に敗退しました。部員が減少しているため、単独校として花園予選等に参加できない現状ではありますが、5名の部員一人一人が志を高く持ち、70年の伝統を胸に努力を惜しまず戦ったことで、春にはこの部員5名全員が「合同東京代表」のメンバーに選ばれ(海外研修の為1名辞退)このチームの中心として活躍し、合同選抜関東大会で見事優勝を飾りました。8月には、4名が「合同関東代表」のメンバーにも選ばれ大活躍し、「コベルコカップ」全国高校合同チームラグビーフットボール大会で優勝することができました。また主将の赤坂青柳の両名は



「合同チーム」18東西対抗の東軍代表メンバーに選出され、1月の全国高校ラグビーフットボール大会の決勝戦の前に行われた試合に、部員全員の思いを胸に花園ラグビー場のグラウンドに立ち、東軍として勝利を収めました。中学も合同チームでの活動となりました。東京都の春季大会で6位の成績で関東大会へ出場、秋季大会は決勝に進んだ成城学園に僅差で敗れ、ベスト8の戦績となりました。OB会として現在役員6名・幹事6名で活動しており、OB・戦・総会の開催、会報の発行、現役学生支援、OB会費徴収等の支援費用確保が主なものになります。

来々2019年はワールドカップの日本開催、2020年には東京オリンピックと、ラグビーへの関心が高まる中、ラグビー部に多くの部員が集まり、現役部員・スタッフ・保護者とOBが一丸となり、また学校からのバックアップをいただきながら、単独チームとして、また全国大会を目指すチームとして復活していきたいと思います。これからもご支援・ご声援の程よろしくお願い申し上げます。

ブラスバンド部 創部60周年記念式典

私達法政大学高等学校ブラスバンドOB・OG会は、中高生現役部員の部活を応援する目的で、2004年にOB有志が集まり結成されました。高校を卒業しても後輩達に何か貢献したいという気持ちからスタートし今年で14年目を迎えることが出来ました。毎年様々な行事を行っている中、今年度はブラスバンド(会部)創部60周年にあたり、2017年10月29日(日)に「創部60周年記念式典」を法政大学中高内のオレンジホールにて現役生たちを交え、同窓会副会長田辺勉様にもご列席賜り実施しました。



校長顧問、創部者、OB・OG会長、現役生部長からのお祝いのお言葉を頂き、中でも創部者の椎塚常一(1958年卒・楽器ユーホニウム)からは創部のいきさつ(野球応援・我が法政一高野球部が甲子園出場をかけた、王貞治率いる早稲田実業と対戦した際に応援団として結成の話がありました。さらに現役生による演奏(コンクール金賞受賞曲)の披露、感動の指揮者挨拶に続き「校歌斉唱」で式典の幕を閉じました。



続いて第2部の「親睦会」では参加者全員で歓談し、スライドショー上映や記念撮影などで盛り上がりました。我々は今後とも現役支援と会員同士の親睦を深めていくことを目的に活動を続けていきたいと思います。今後とも皆様方のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。



午前10時より開式。岡校長先生式辞に始まり、大学のデザイン工学部長竹内則雄代表の祝辞、岩村同窓会長祝辞、卒業生代表の答辞、沢山の人のへの感謝の言葉：校歌斉唱にて閉式となりました。



今年は桜の花が早く咲き、式の当日は葉桜に。午後1時体育館にて開式。岡校長の式辞で始まり、学校より経営学部部長佐野哲様祝辞、PTA会長祝辞……校歌演奏にて閉式となりました。



チアリーディング部

拝啓、暑厳しき折、皆様におかれましては
ますます、清栄のごことお喜び申し上げます。
さて、八月十八日(金曜日)、東京体育館
で行われましたジャパンカップ2017フ
チアリーディング大会(日本選手権大会)フ
リート・ナメントにご多忙中にもかかわらず
ぜひ応援に足をとお運びいただきましたま
じなりのご協力ありがとうございました。また、過分
なるお心遣いを賜り、保護者を代表致し
まして心より御礼申し上げます。
フチアリーディング部は、夏三上は高木本

東京総合体育大会は六月には関東大会に出場いたしました。ジャパンカップの準決勝予選にあたる関東大会では惜しくも準決勝進出は逃してしまいました。が、フライデー ナマント出場権を獲得することが出来ました。関東大会での課題に取り組み、昨年に続きジャパンカップ決勝進出を目指し練習を重ねて参りました。残念ながらジャパンカップフライデー ナマントでは翌日の準決勝に進むことが出来ませんでした。が法政大学高等学校同窓会の皆様のおかげで二声援とご支援に深く感謝しております。

三年生は後輩に思いを託し、二年生は来年こそ決勝進出を果たせるよう努力していく所存です。

今後ともチャリティー活動の活動に
ご理解とご協力を賜りますようしく
お願い申し上げます。
本願ながら、皆様のますますのご健康
とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

敬 具

平成二十九年八月吉日

法政大学チャリティーディング部

保護者代表 坪内 直美

拜啓 立秋とは名ばかりの厚き、そして雨
 混じりの不安定な天候が続いております
 が、岩村様におかれましてはお変わりなく
 お過ごしのことと心よりお慶び申し上げます。

さ。この度はバナー部の選手権大会の予選に際し、多忙中にもかかわらず会場まで足を運びいただいたきまぐれ温かいご声援と共に丁寧なお心遣いを頂戴。また応援およびご下見を頂戴。父母会を代表いたします。お礼申し上げます。

残念ながら予選敗退。三年は引退となりましたがこれからが新チームで秋の新人戦に向け精進して参ります。どうか今後とも変わらぬご高配を賜りますようお願い申し上げます。

暑さ厳しき折、くれぐれもお体ご自愛ください。ますますお祈りいたします。

まずは略儀ながら書中にてお礼申し上げます。

敬具

平成二十九年八月二十日

2018年1月末、一本のSMSメールが入りました。見れば、高校時代の同級生からのもので、番々を実家に問い合わせ連絡したと書いてありました。内容は、当時所属していた応援団のOB会の案内で、開催日は2月10日と記されていました。高校卒業以来、一度も会ったことはありませんでした。直ぐに出席の意向を伝えていました。

会場になった神田の魚援団は、應援團の後輩が経営するお店で神田駅から徒歩数分のところにありました。会場に着くと既に数人が店にいましたが、高校卒業以来30年以上が経過しているためピンときません。会話も、初めのうちはぎこちないものでしたが、しばらくすれば高校時代に戻っ

昨年の11月22日にドイツ人留学生の方達が、本校華道部のコートである渡辺恵美先生（池坊）の御指導のもと華道体験をしました。

剣山という馴れない道具を使っての生け花に最初は緊張していたようでしたが、次第に馴れて楽しく華道体験ができました。

枝を少なくしたり、葉が多かったら少し減らすなどして、あえてなにもない空間を確保することで、生けた花を引き立てるという説明に、留学生の皆さんだけでなく、通訳をした本校の生徒（5年4組 蛸名 夏音さん・5年3組 山下純鈴さん）も西洋のフラワーアレンジメントと日本の生け花の違いを感じてくれたようです。

また、主役の華を決めて、他の花材でその華を引き立てるように生けるといつたコトも教り、主役はどの華で、サポートはどの花材と色々工夫した結果、初上者とは思えないほど配色や構図に凝つてくれました。体験華道ということですが、好きな花材を用意したのですが、好きな

然を大事にし、OB会に足を運ぼうと考えています。



SMSメールから始まった初めての〇Ｂ会でしたが、参加できること自体が偶然でした。実家の周辺は急速に再開発が行われ、卒業した小学校、中学校は既に廃校になり、学校名は残っていません。あと一年もすれば、実家も再開発により取り壊され同級生が連絡を取る術も無くなったと思うため、現在、単身赴任中の私にはたまたま東京に戻ることになっていました。これからも、この偶

華・色・構図などがそれぞれに違つて個性豊かな作品ができました。

作品ができあがつたら終わりというのも味気ないので、各自の作品を茶室の床の間に飾つて写真撮影大会となりました。床の間に飾つた時は正座の高さで見ると、作品が一番美しく見られるという説明に、馴れないうちにチャレンジしました。最後は教授して下さった渡辺先生と通訳をしてくれた生徒のみんなで集合写真を撮りました。

当初、出来上がった作品はくずして、お花をプレゼントするという予定だったのですが、ご本人達の要望でエントランスに飾ることになり、ドイツから来た友達の違い出すすやがとして、しばらく全校生徒の目を見

楽しませてくれました。

顧問 堀江美代子



A group of nine people, including students and staff, posing with potted plants in a room with a shoji screen background. The group consists of seven young adults and two older adults, all smiling and holding or standing next to various potted plants, including orchids and other greenery. They are arranged in two rows, with some kneeling in the front and others standing behind. The background is a traditional Japanese shoji screen.



法政大学高等学校同窓会 平成28年度収支決算書
(28.4.1 ~ 29.3.31)

収入の部			
科 目	前年実績	決算額	備 考
款 項			
繰越金	1,698,859	2,080,596	
会 費	3,838,100	4,734,070	
(イ) 入 会 金	1,575,000	1,603,000	¥7,000×225名(前年) ¥7,000×229名(本年)
(ロ) 新入会員年会費	675,000	687,000	¥3,000×225名(前年) ¥3,000×229名(本年)
(ハ) 年会費・寄付	1,421,100	1,515,570	既会費、お祝い金等
(ニ) その他会費	167,000	928,500	総会費、新年顔合わせ会費等
雑収入	37,333	28,807	預金金利、グッズ、写真、「鑑」各売上
計	5,574,292	6,843,473	
經常収入	3,875,433	4,762,877	

支出の部			
科 目	前年実績	決算額	備 考
款 項			
經常費	1,230,793	2,092,352	
(イ) 学校協力費	387,314	378,225	生徒部活動援助、卒業生記念品
(ロ) 会 議 費	135,804	188,246	会議諸経費、新年顔合わせ会、新卒クラス委員説明会
(ハ) 組織活動費	269,192	1,061,199	大学・付属校関連、付属校役員懇親会
(ニ) 印刷費	0	0	封筒印刷代
(ホ) 通 信 費	30,278	26,523	会議開催通知等郵便代、メール便代
(ヘ) 人 件 費	360,000	360,000	事務局員手当
(ト) 事務用品費	3,105	3,729	コピー用紙、各種印刷、ラベル用紙代
(チ) 雑 費	45,100	74,430	振込手数料、各OB総会お祝金、慶弔費等
事業費	2,262,903	2,388,511	
(イ) 会報発行費	1,975,905	2,114,503	会報発行費、取材交通費、写真現像・プリント代、アルバム代
(ロ) HP費用	120,180	120,612	レンタルサーバー費用・インターネット接続料
(ハ) 総会、委員総会	166,818	153,396	クラス委員総会費
積立金	0	0	名簿作成積立金
予備費	0	0	予 備 費
計	3,493,696	4,480,863	
次年度繰越金	2,080,596	2,362,610	
合 計	5,574,292	6,843,473	

法政大学高等学校同窓会 平成29年度収支予算書
(29.4.1 ~ 30.3.31)

収入の部			
科 目	前年予算	前年実績	本年度予算
款 項			
繰越金	2,080,596	2,080,596	2,362,610
会 費	4,250,000	4,734,070	4,380,000
(イ) 入 会 金	1,575,000	1,603,000	1,666,000
(ロ) 新入会員年会費	675,000	687,000	714,000
(ハ) 年会費・寄付	1,800,000	1,515,570	1,800,000
(ニ) その他会費	200,000	928,500	200,000
雑収入	50,000	28,807	50,000
計	6,380,596	6,843,473	6,792,610

支出の部			
科 目	前年予算	前年実績	本年度予算
款 項			
經常費	1,510,000	2,092,352	1,510,000
(イ) 学校協力費	430,000	378,225	430,000
(ロ) 会 議 費	180,000	188,246	180,000
(ハ) 組織活動費	450,000	1,061,199	450,000
(ニ) 印刷費	20,000	0	20,000
(ホ) 通 信 費	50,000	26,523	50,000
(ヘ) 人 件 費	360,000	360,000	360,000
(ト) 事務用品費	10,000	3,729	10,000
(チ) 雑 費	10,000	74,430	10,000
事業費	2,600,000	2,388,511	2,600,000
(イ) 会報発行費	2,200,000	2,114,503	2,200,000
(ロ) HP費用	250,000	120,612	250,000
(ハ) 総会、委員総会	150,000	153,396	150,000
積立金	500,000	0	500,000
予備費	100,000	0	100,000
計	4,710,000	4,480,863	4,710,000
次年度繰越金	1,670,596	2,362,610	2,082,610
合計	6,380,596	6,843,473	6,792,610

普通預金残高 ¥2,360,430(三菱東京UFJ吉祥寺支店)/小口現金 ¥2,180/定期預金(積立金) ¥2,001,558 (29年3月31日現在)

法政大学高等学校同窓会 同窓会会員 各位

監査報告書

平成28年度(28年4月1日～29年3月31日)、同窓会収支決算書の会計監査を平成29年5月28日に実施した。会計監査の結果、業務の執行及び決算書類、会計処理は適正に実施されており、収支決算書は適正であることをとめます。

会計監査役 山田 富蔵



平成29年5月28日 会計監査役 川城 官二朗

第5回同窓会ゴルフコンペ報告
及び第6回開催のご案内

昨年の9月21日、関越自動車道と圏央道のそれぞれにある鶴ヶ島インターよりおよそ25分の鳩山カントリークラブにて3年連続の開催でした。距離が比較的近いこと、プレイ料金がリーズナブルであることで皆様から喜んで頂いているコースです。

第5回大会の参加者は29名で8組、8時30分にOUT・INの同時スタートで挙行されました。結果は、優勝は高校38期生(1986年3月卒業)影山幸一郎氏で今大会の最年少出場者でした。準優勝は高校36期生宮内竜二氏、ベストクロスは高校36期生石井 憲氏でした。好天に恵まれ、昨年、心臓の手術で参加を見合わせた8期生、同窓会岩村会長氏が復帰し、80歳を迎えた長老の5期生秋山長司氏が3位に入賞、1位から10位のネット順位が76・9・79・6で僅か2・6ストロークの差で10人が優勝を競い、その他16期生でPGA会員の能登和彦氏の参加など多彩な皆様が参集され無事終了しました。

歴代の幹事様が優勝者と準優勝者でゴルフコンペに造詣が深く、同窓会ゴルフルールも毎年充実し、社会人として、ゴルフデビューされる皆様には格好のゴルフ大会です。今年の大会には是非参加頂き、楽しんで下さい。尚、第6回、同窓会ゴルフ大会は9月19日(水)に鳩山カントリークラブで開催します。

プレイ代15,280円(キャディー・昼食代を含み70歳以上は1,100円引き)、会費4,000円です。(同窓会年会費3,000円未払いの方は当日受付にてお預かり致します)

参加ご希望の方は同窓会報に記載の同窓会事務局あてに、ご氏名・住所・電話番号を電話・FAX・メールにて6月末日までにご連絡下さい。なお、お申込み頂いた皆様並びに既にご参加頂いた実績がある皆様、7月の中旬に正式な開催通知を、又、8月末には最終のご案内(取組表・コースへの略図・クラブズ時刻表等)をお送りします。

幹事 影山幸一郎
宮内竜二
補佐役 赤沼啓一郎第33回法政大学付属高校
同窓会役員懇親会

平成30年2月17日(土)16時より法政大学第二中・高等学校同窓会の幹事によりまして、武蔵小杉のホテル精養軒にて開かれました。

懇親会が始まる前に、新校舎建設工事を終えたキャンパス見学に参加させて頂きました。広大な敷地に時計台をシンボルとする教室棟、1300人が収容できる講堂、体育館3棟、グランド、テニスコートを見学させて頂きました。男女共学になったこともありと思いますが、明るく活気のあるキャンパスだと印象に残りました。

キャンパスから法政通りを歩きホテル精養軒に移動しました。付属校同窓会役員、各来賓合わせて65名、法政高校同窓会は岩村会長を含めまして9名で参加致しました。今年も法政大学第一・第二工業高等学校同窓会の皆様に参加して頂き活気ある、懇親会となりました。

次回(第34回)幹事校は法政大学第一工業高等学校同窓会になります、是非参加を宜しくお願い致します。法政大学女子高等学校同窓会からの情報ですが、本年4月より共学の法政大学国際高等学校に変わります。

財務委員長 吉岡郁典

式次第

司会：法政大学第二中・高等学校同窓会
事業委員長 櫻井 忠

- 開会・主催者挨拶
法政大学第二中・高等学校同窓会会長 五明 公男
- 来賓挨拶
一、法政大学校友会会長 桑野 秀光 様
二、法政大学中学校副校長 松浦 麻紀子 様
三、法政大学女子高等学校副校長 河合 知照 様
四、法政大学第二中・高等学校副校長 笠原 浩之 様
- 乾杯
法政大学第二中・高等学校同窓会相談役 早速 満和
- ご挨拶・会食
一、法政大学高等学校同窓会会長 岩村 元雄 様
二、法政大学女子高等学校同窓会会長 小倉 久子 様
三、法政大学第一工業高等学校同窓会会長 井坂 義雄 様
四、法政大学第二工業高等学校同窓会代表 櫻井 辰夫 様
五、法政大学第二高等学校同窓会会長 五明 公男
- 次回第34回懇親会 幹事紹介
法政大学第一工業高等学校同窓会
- 校歌斉唱
法政大学第二中・高等学校同窓会副会長 大八木 勇夫
- 閉会挨拶
法政大学第二中・高等学校同窓会副会長 小澤 俊文
- 記念撮影
法政大学第二中・高等学校同窓会 広報委員会

クラス・クラブ委員総会 開催のご案内

平成30年度法政大学高等学校同窓会、クラス・クラブ委員総会を左記の通り開催いたします。委員の皆様のご出席をお願い申し上げます。

記

期日 平成30年6月16日(土)
時間 受付開始 14時00分
総会開会 14時30分

会場 法政大学中学高等学校
1階 食堂

会費 2,000円

総会議題

- ① 平成29年度事業報告
- ② 平成29年度会計報告
- ③ 平成29年度会計監査報告
- ④ 平成30年度事業計画
- ⑤ 平成30年度予算案
- ⑥ 役員改選
- ⑦ その他

懇親会 16時00分開会予定
校歌斉唱・閉会 17時予定

なお、準備の都合上、ご出欠のご連絡は同封ハガキ、メール、お電話で、6月8日までに同窓会事務局宛ご連絡ください。

総会準備委員長 田邊 勉

2017年度 報奨制度表彰生徒 (卒業式表彰者)

- * 成績優秀者奨学金 該当者なし
- * 学年優等賞 6・3 成塚 真末子
- * 認定海外留学奨励金 6・5 渡邊 菜津美
- * スポーツ・学術・文化等優秀賞(1団体) ☆音楽部
- 「セカンドロック」
- 6・1 渡辺 凜太郎
- 6・5 黒田 悠太
- 6・4 村松 知哉
- 6・6 阪口 舞

◆退職 (2018年3月)

中村 健士郎
(任期付教諭・英語科)

◆採用 (2018年4月)

植竹 佑樹
(専任教諭・国語科)

小林 優香
(専任教諭・社会科)

川島 日向子
(専任教諭・英語科)

松本 直明
(特別教諭・国語科)

大鹽 達
(特別教諭・国語科)

職員
(特別教諭・国語科)

※兼任講師

職員の異動は
ありませんでした。

大切なお知らせ

「転居先」ご連絡下さい！

発行年度により多少の差はありますが、毎回かなりの数の不達が発生しております。不達理由はさまざまですが一番目立つのは「転居」による不達です。このことは私共にとりましても大変残念な思いです。お住居の変更等がありましたら是非共クラス委員の方々へご連絡下さい。又直接、同窓会事務局にお知らせいただいても結構です。これにつきましては各クラス委員の皆さまにも、クラス委員総会などでご協力をお願いしております。

これからも一人でも多くの同窓生の皆さまへ会報「進取」をお届け出来ますよう、私共もがんばります。どうかよろしくお願い致します。

(組織拡充委員長 澤田 安弘)

振込詐欺にご注意ください！

いつも同窓会にご協力をいただきまして有難う御座います。先般、会員の個人宅に「同窓会に30万円の寄付をお願いします」という旨の文書と口座番号が明記された振込用紙が送付されてきた、との連絡がありました。

法政高校同窓会におきましては、会報と一緒に同封する振込用紙の口座以外に振込みをお願いすることはありません。もし同窓会を名乗って振込み依頼などの文書が送付されてきましたら、事務局までご連絡をお願いいたします。

(同窓会事務局)

同窓会 役員・広報スタッフ募集

いつも法政高校同窓会にご理解とご協力を賜りありがとうございます。同窓会では、「母校愛」「母校への貢献」を共通理念として活動を共にする役員を公募しています。

また、広報委員会では、広報活動にご協力いただけるスタッフも募集しています。左記の通り活動をしていきますので、各々得意な方、好きな方、興味がある方、事務局までご連絡いただければ幸いです。

広報活動内容

- ◎ 会報作成に係る活動
(取材・写真撮影・加工・印刷デザイン)
- ◎ ホームページ作成に係る活動
(各種データ加工・アップロード作業)
- ◎ 同窓会会員名簿の管理
(広報委員長 大貫 光伸)

同窓会年会費(年三千元)納入のお願い

同総会費の収入は、皆様方のご協力により年々増加しておりますが、一方、支出の方も学校協力費(生徒部活動支援等)、同窓会会報費など増えております。収支バランスには気を付けているつもりですが、財務状況はなかなか良くなりません。繰越金が多々減つてきています。

収入元は同窓会年会費と新卒業生の入会金だけです。今年度は会費納入に関係なく、同窓会会報は同窓生に(一万二千円)を発送致しました。

つきましては、この状況をご理解いただき、今年度も同窓会会費(三千元)のお振込みをお願い申し上げます。振込用紙は会報に同封いたしました。

(財務担当副会長 相川 欣運)

物故者

元教諭

知和 静夫 先生

2018年1月10日ご逝去
(享年93歳)

元教諭

松本 節也 先生

2018年2月5日ご逝去
(享年86歳)

ここに謹んでご冥福をお祈りいたします